

第39回 東京新島講座

植木朝子 同志社大学学長、細井創 同志社女子大学特別任用教授を講師に迎え、第39回東京新島講座を開催いたします。ご来聴くださいますようご案内申し上げます。

講師・演題



植木朝子
(同志社大学学長)
「中世の歌姫たち—白拍子を中心に—」



細井創
(同志社女子大学特別任用教授)
「チルドレン・ファースト！難病の子どもたちが
教えてくれる未来の医療、未来の社会」

日時 2022年9月19日(月・祝) 14時00分～16時30分(開場13時30分)

会場 国際ファッションセンタービル 11階 Room 111

〒130-0015 東京都墨田区横綱 1-6-1

会場へのアクセス：都営地下鉄大江戸線 両国駅(A1出口) 徒歩0分、
JR総武線 両国駅(東口もしくは西口) 徒歩約7分

- ❖ お申込み方法：
MAIL・ハガキのいずれかでお申込みください。住所・氏名・ふりがな・電話番号をお知らせください。
1通のMAILもしくは1枚のハガキで1名のみのお申込みとなります(複数名のお申込みはご遠慮ください)。
MAILでのお申込みの場合、件名を「第39回東京新島講座申込み」としてください。
- ❖ お申込み期日：2022年8月23日(火)まで(必着)
ご入場いただける方には8月末までにハガキにてお知らせいたします。なお、お申込み者数が定員人数を超過した場合には抽選となりますことをご了承ください。
- ❖ 新型コロナウイルス感染症拡大状況により、オンライン形式での開催に変更となる場合があります。

定員70名
入場無料

主催 学校法人同志社

後援

同志社校友会東京支部
同志社同窓会東京支部

お問合せ
お申込み

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町 601
学校法人同志社 法人事務室「東京新島講座」係
TEL：075-251-3006
MAIL：ji-hojin@mail.doshisha.ac.jp

第39回 東京新島講座 公開講演会

1. 開会
2. 挨拶
3. 講演（2部構成）

第1部

演 題 「中世の歌姫たち—白拍子を中心に—」

講 師 同志社大学学長 うえき ともこ
植木 朝子

【講師紹介】

1967年生まれ。お茶の水女子大学文教育学部国文学科卒業。同大学院修士課程人文科学研究科日本文学専攻修了、同博士課程人間文化研究科比較文化学専攻単位取得退学。お茶の水女子大学助手、十文字学園女子大学助教授などを経て、2005年同志社大学文学部国文学科助教授、2007年から同教授。

同志社大学文学部長・文学研究科長、同副学長、同教育支援機構長を務め、2020年4月から同志社大学学長。博士（人文科学）（お茶の水女子大学）。

【主要著書】

- ・『『梁塵秘抄』とその周縁—今様と和歌・説話・物語の交流—』（三省堂）2001年5月
- ・『中世小歌 愛の諸相—『宗安小歌集』を読む—』（森話社）2004年1月
- ・『梁塵秘抄の世界—中世を映す歌謡—』（角川学芸出版）2009年12月
- ・『風雅と官能の室町歌謡—五感で読む閑吟集—』（角川学芸出版）2013年1月
- ・『虫たちの日本中世史 『梁塵秘抄』からの風景』（ミネルヴァ書房）2021年3月

第2部

演 題 「チルドレン・ファースト！難病の子どもたちが教えてくれる未来の医療、未来の社会」

講 師 同志社女子大学特別任用教授 ほそい はじめ
細井 創

【講師紹介】

1955年生まれ。京都府立医科大学卒業。医学博士（京都府立医科大学）。米国セント・ジュード小児研究病院 博士研究員・客員研究員、京都府立医科大学 教授（大学院医学研究科小児科学）、同附属病院副病院長、同がんプロフェッショナル養成センター長、同医療センター所長、同副学長、同臨床研究推進機構長等を経て、2021年4月より同志社女子大学看護学部特別任用教授。

【主要論文】

- ・ Differential expression of myogenic regulatory genes, MyoD1 and myogenin, in human rhabdomyosarcoma sublines. Int J Cancer. 50: 977-983, 1992.
- ・ Phosphorylation of the translational repressor PHAS-I by the mammalian target of rapamycin. Science. 277: 99-101, 1997.
- ・ Rapamycin causes poorly reversible inhibition of mTOR and induces p53-independent apoptosis in human rhabdomyosarcoma cells. Cancer Res. 59: 886-894, 1999.
- ・ A review of 331 rhabdomyosarcoma cases in patients treated between 1991 and 2002 in Japan. Int J Clin Oncol. 12: 137-145, 2007.
- ・ Development of non-viral, ligand-dependent, EPHB4-specific chimeric antigen receptor T cells for treatment of rhabdomyosarcoma. Mol Ther Oncolytics. 20:646-658, 2021.